

三陸鉄道・南リアス線 & 北リアス線

全線で運転再開

東日本大震災で被災し一部区間で運休となっていた三陸鉄道南リアス線（釜石⇄盛）と北リアス線（宮古⇄久慈）が全線で運転を再開しました。震災から三年余りを経てようやく鉄路が一つのレールでつながりました。



南リアス線では、4月5日午前5時半過ぎに大船渡市の盛駅から釜石駅に向け一番列車が発しました。南リアス線36.6キロは震災で駅舎や線路が流されるなどの被害を受け、全線でおよそ2年間運休しました。去年4月、一部区間で運転が再開され、残された釜石駅と大船渡市三陸町にある吉浜駅の区間の整備が終了し、全線での運転再開を果たしたものです。

また、北リアス線でも4月6日に全線で運転を再開しました。久慈駅では沿線の市町村長や国、県の関係者を乗せた記念列車が午前8時5分に宮古駅に向け出発し、多くの住民が祝福に駆け付けました。運休が続いていた北リアス線岩泉町小本駅と田野畑村田野畑駅の10.5キロの区間にある田野畑村の島越駅では地元住民が横断幕や大漁旗を手に鉄路の再開を歓迎していました。



宮古駅前で行われた記念式典で三陸鉄道の望月正彦社長は「復興の先導役としてこれからの正念場」と決意を述べ、全線運行再開を宣言しました。昭和59年の開業から今年でちょうど30年。節目の年に震災からの復活を果たし、第二の開業を迎えたこととなります。



（4/6 ニュース）



山田発

船越小・新校舎完成



東日本大震災で被災した山田町立船越小の新しい校舎が完成しました。新しい校舎は裏山を造成し、旧校舎よりも11メートル高台に作られ、木のぬくもりが感じられる校舎です。4月5日の落成式では震災当時の6年生が作詞した悲しみを乗り越えて未来へ向かおうという歌、「明日へ」の合唱が披露されました。

（4/5 ニュース）

大船渡発

ホヤの収穫

大船渡市三陸町の小石浜漁港で、東日本大震災後、初めてとなる「養殖ホヤ」の水揚げが始まりました。ホヤの養殖をしている漁家の一人佐藤圭希さんは、震災前まではホタテの養殖を行っていました。しかし津波で養殖施設が全壊し、漁船も失ったため、震災後は比較的低コストの「ホヤの養殖」に乗り出しました。そして震災の年の12月に種付けしたホヤがようやく収穫できる大きさに成長しました。水揚げされたホヤは、県内のスーパーなどに出荷されます。



（4/8 ニュースエコー）

大槌発

さんりく元気ラジオ

（ワイドステーション内毎週水曜日放送）

今週はおおつちさいがいFMの金崎伊保子さんが、大槌町内に建設する「三枚堂～大ヶロ」トンネルについて伝えてくれました。完成は平成29年度の予定、災害時などで迂回道路として通行できる町民悲願のトンネルだという事です。また「ホワイトベース大槌」という新しい宿泊施設について伝えてくれました。これは復興工事関係者等用の長期滞在棟と、観光客用の一般棟がある宿泊施設で、料金設定も安くなっているので、ぜひたくさんの方に大槌に来て欲しいと話していました。（4/9）



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122